



西日本区中部ホームページ・<http://www.ys-chubu.jp/>

2011年9月号

「主題」

- 国際会長 : 「とにかくやろう—成せばなる」
- アジア地域会長 : 「とにかくやろう—成せばなる」
- 西日本区理事 : 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
- 中部部長 : 「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働く、そしてつなげよう」
- プラザクラブ会長 : 「ワイズなワイズになろう」

【Memettes=各クラブでネット例会を企画し、国内プロジェクトへの理解を深めましょう。】

9月例会および今後の予定案内

【9月第1例会】

日時：9月8日（木）・18：45～
場所：ケンボー・東区東桜町2-15-27 TEL. 931-0271
内容：①プラザHP修正検討（案大島会長作成）
②歓迎会

【9月第2例会】

日時：9月22日（木）・18：45～
場所：名古屋YMCA会議室
内容：次月例会打ち合わせ
出席義務者：役員（大島・櫛田・後藤）
10月担当者（島崎・鈴木）
11月担当者（鈴木・高田）

【今後の予定】

1. ジャズコンサート

日時：9月10日（土）・開演17：30
場所：想念寺
会費：3000円／人

2. パレットキッズとハゼ釣り会（10月第1例会）

日時：10月8日（土）・現地集合10：00
場所：稻永公園（稻永ビジターセンター前）
名古屋市港区野跡4-11-2 TEL. 052-389-5821
*弁当各自持参

3. ふるさと交流会

日時：10月29日（土）・10：30～
場所：愛知牧場
会費：1500円／人

4. クリスマス合同例会

日時：12月10日（土）・18：00～
場所：アイリス愛知
会費：1500円／人

8月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者							
		1	2	①②③④	○				
会長	大島 孝三郎	○	○	○ ○○					
	小澤 幸男	○			○				
書記	櫛田 守隆	○	○	○ ○					
会計	後藤 猛	○	○	○ ○					
直前会長	島崎 正剛	○	○		○				
	鈴木 誉三		○		○				
副会長	高田 廣	○	○		○				
	常盤 真理子	○			○				
連絡主事	万福寺 昭美	○	○		○				
ゲスト									
課外活動	①アジア大会(8/4-8) ②子どもたちとマス釣り(8/13) ③ふるさと交流会・実行委員会(8/23) ④第15回中部部会(8/28)								
出席率・%		100.0							
1. ニコボックス		5500		5500					
2. オークション		0		0					
当月合計／累計		5500		5500					
10月号ブリテンの寄稿者は万福寺さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp									
11月号 小澤／12月号 鈴木／1月号 島崎 2月号 高田／3月号 大島／4月号 後藤									

ネット=ワイズネットの略。ワイズメンの夫人および各個クラブが特別ネットとして入会を認めた女性。

8月第1例会報告

日時：8月11日(木)・18:45-20:45

場所：名古屋 YMCA 会議室

1. 卓話「私の趣味」 講師：小澤 幸男

趣味は映画、音楽にカメラ、映画は主にミュージカル、音楽は映画音楽が好きです、とハリウッドの裏話を披露してくれた。

「王様と私」のデボラ・カー、「ウエストサイド物語」のナタリー・ウッド、「マイフェアレディ」のオードリー・ヘップバーン、この名女優たちの「クチパク」をバックに歌ったのはマーニ・ニクソンという歌手です。3女優のゴースト・シンガー振りを持参されたCDで聴くと、3人3様に微妙に歌声や歌い方を違えているのは見事である。実力派の彼女が映画に出たのは、ジュリー・アンドリュース主演の「サウンド・オブ・ミュージック」に大勢の修道女の一人として歌ったのが最初で最後でした。

カメラの趣味は、1988年のソウルオリンピック陸上100メートル決勝でカナダのベン・ジョンソンが、カール・ルイスを9秒79という世界記録で破って優勝した写真を見せてもらった。スタートからゴールまで正面に据えた望遠で連射したもので、四つ切3枚にまとめた迫力ある写真です。後にドーピングが発覚し金メダルは剥奪された。

「60の手習い」とかで老人ホーム慰問のとき、ひやひやしながら聴くハモンドオルガンの演奏も趣味のひとつ、安心して聴けるように精進してください。

2. 連絡事項・大島

ゲストの常盤さん、今回出席でワイズ入会の資格を得る。本人の入会意思の確認と所定の手続きを経て、中部部長、EMC 主査立会いの下、9月第1例会に入会式を行う予定です。

3. プラザホームページ開設・大島

現在プラザのホームページは山本さんの会社に間借りしている状態で、ホームページ委員会より改善を要請されていますが、どのようにすればいいのか委員会の意向や技術的な問題をグラントパスの荒川さんをお招きして討議、全員が認識を共有する場にと考えています。

4. プラザ役員会・大島・高田・櫛田・後藤

常盤真理子さんの入会を承認し、9月第1例会において入会式を行う。

8月第2例会報告

日時：8月25日(木)・18:45-20:30

場所：名古屋 YMCA 会議室

1. クラブホームページ改訂について・大島

クラブのHP改訂に知恵を貸していただくため、グラントパスの荒川さんを講師にお迎えしました。

・クラブHPは、元メンバーの山本さんの会社HPに同



(アジア大会で多くの人たちとの出会いがいっぱい)



(釣れた！ 釣れた！ 3匹目が釣れた、って！ って！)



(常盤さん、長谷川部長から入会認証状を授与される)

居しており具合が悪い。彼の了解を得て、クラブHP部分のみ抜き出すことは出来ないか。

- ・山本さんと話し合いの結果、彼のHP全データをコピーしてクラブが譲り受ける。
- ・荒川さんは譲り受けたデータから不要な箇所を削除して「プラザ独自HP」を作成する。作成できた場合は、中部ウェブサイトにUP、HP住所を連絡するのでわがメンバーは確認する。
- ・プラザ独自HPアップが困難な場合は、次の対策を考える。なお、中部のウェブサイトに余裕があり名古屋クラブと同様、わがクラブも間借りすることとする。以上、長時間お付き合いくださいました荒川さんに感謝いたします。

2. 常盤さんの入会式・大島

津クラブの新会員と共に中部部会の壇上で行う。

3. プラザクラブ会則の改定・大島

- 入会金を7000円に改定する。
4. クリスマス合同例会・大島(略)
 5. ふるさと交流会・大島(詳細略)
東日本の被災者の方々をお招きして、バーベキュー、音楽交流会を行う。
 6. パレットキッズとハゼ釣り会・櫛田(略)

第24回アジア地域大会に参加して

大会は8月5日～7日に台湾の宜蘭(Yilan)のシルクプレイスホテルを会場に開催された。参加者は日本から185人、Korea Area 52人、地元台湾357人ほか、ノルウエイ、フィリピンなど計655人、その他ユースコンボケーションから合流したユース126人を合わせた総勢781人であった。

1日目(8月5日)は午後1時、開会式・音楽演奏に続きDr. Niven Huangさんによる基調講演があり、音楽演奏・伝統芸術の発表のあとIPAP Night(直前アジア会長の夜会)とIPAPの挨拶・夕食会であった。2日目AEO(次期アジア地域役員)による報告のあとEMC/CS/TOF/YMCA—YIAの4グループに分かれてのフォーラムがあった。午後からは3つのグループに分かれての遊覧、私は蘭陽博物館見学に参加した。それは蘭陽の地方レベルの博物館ではあったが、まず、建物の外観には目を見張った。内容もいろいろな工夫を凝らして展示されたもので、蘭陽に関する地形的・自然環境・歴史・文化・民族的・生態系について展開され、蘭陽の県が外に対して自分のことを強くアピールする姿勢や意欲を感じた。夕方のAP Night(アジア会長の夜会)では会長のスピーチと晚餐・ダンスタイムがあった。あまり堅苦しくない踊りの輪には、大勢がひしめきあい汗だくになって、楽しく踊った。こんなところに人類みな兄弟を感じることが出来た。3日目はリラックス運動に始まり、日曜礼拝、ユース代表によるアジアユースコンボケーションレポートと続き、前日の4つの分科会の報告があった。更に今大会のハイライトの紹介、25回大会のプロモーション、70回国際大会のプロモーション、次期アジア会長の挨拶、閉会式と続き正午に散会した。

以上の報告の他に個人的な感想を述べれば、まず言葉の壁がある。中国語の後、英語で通訳はされたが(基調講演ではレシーバーによる日本語同時通訳がされたが、わたしは使用せず)内容はあまり理解できなかつた。しかし、外国人人と直接に顔を合わせ、少しだけでも言葉を交わし雰囲気を共有するということは、同じ目的をもった人たちと国際的に連繋しているのだと実感をもつことが出来た。

翌日には前日のサマリーを載せた新聞が配られたが、中国語と英語の訳があるだけなので帰国してからの復習と語学学習の教材とすることにした。2つの言葉を並べて見ると理解度が高まることは実感できる。3日の夜には日本からのユースの内10人ほどの参加者

のねぎらいと、これから激励も兼ねた懇親会に、浅岡理事を始め西日本区のメンバーの一員として出席した。その内のユースの一人によると、今回の参加費は西日本区と阪和部と奈良クラブからの援助金でまかなわれて参加出来たとのことである。優秀なユースが参加しワイスの将来の中心を担ってくれることを期待できて頼もしく思った。なお、28日の中部部会の席上で、奈良クラブの三枝連絡主事を通して、そのユースの久保陽子さんから、先日隣りに着席したとき、お話し合いができる嬉しかったとの伝言がもたらされた。フレッシュな感性のユースに対し言葉の責任を思うと共に、逆に私が成長を後押しされていると感激した。また、先の横浜国際大会で同じテーブルを囲み、名刺をいただいたTaichung-Everflowクラブの童美玲さんと再会、記念に台湾の美しい蝶を切手のシートに装ってファイルにしたお土産をいただきました。今回の台湾の国際大会に参加する決心をした要因の一つがこの名刺にあったと今になって気付いた次第である。

(大島 孝三郎)

パレットキッズとマス釣り

2011年YMCAの夏プログラム2泊3日の「レインボーキャンプ」最終日の13日、木曾福島町の管理釣り場「みやま荘」で小学生から高校生までのパレットキッズたちと4回目のマス釣り会を開催した。

11時に22人の子どもたち、11人のリーダーと渡辺さんらスタッフ2人が到着する。あいさつに簡単なレクチャーを終えて釣り開始、お腹を空かせたマスたちがどんどんかかる。釣ったマスのほとんどはハリを飲み込んでおり、付き添いのリーダーは外すのに苦労している。世話係のわたしと後藤さんは釣れるたびに呼ばれ、なかなか外れないのはエラを切って無理やり取る。料理係のリーダーは釣ったマスの腹を割き、串に刺して炭火にかざしてこんがりと焼いている。

釣りが飽きた12時ごろ、今度は池の水を抜いてつかみ取り開始、50匹ほど放流したマスは捕りつくしたようだ。食事をしながら「美味しい」「楽しかった」「また来年お願いします」との声に励まされる。

1時半、子どもたちは辺りのごみを拾い、借りた備品を洗い帰途についた。

第15回中部部会報告

第15回中部部会は8月25日、名鉄ニューグランホテルで開催された。中部のクラブ会員のほか、びわこ部、九州部などから140人が参加した。

第一部は、東海クラブの長谷川部長があいさつ、「必ず一歩 楽しもう、学ぼう、働く、そしてつなげよう」の主題を確認し、中部役員・主査紹介、部会に先立って行われた評議会の報告、四日市クラブの国際ブースター賞授与と続き、浅岡西日本区理事や長谷川部

長、大島会長らの立会いのもと、プラザ新会員の常盤さんと津クラブ新会員2人の入会式が行われた。

第2部、東海テレビの高井一氏の講演は、最近の若者言葉をテーマに外来語、特に片仮名言葉の氾濫は「てにをは」の用法を間違えなければ、日本語として成立する便利な言語である。たとえば、「私は彼女を愛する」は、英語では I love her、その反対は She loves me と単語が変化するが、日本語は単語を入れ替えるだけで通じる。タレントの「ルーダ柴」の英語交じりの言葉が理解できるのはこのためである。また、言葉にイントネーション(抑揚)がない喋りは、言葉の専門家テレビのアナウンサーも時々使う。100年後、日本語はどうなっているのだろう。今、われわれが正さなければ大変なことになる、責任ある世代であることを自覚しよう、と結んだ。

第3部はフェローシップアワーである。講演会で聴いたばかりなのに、「懇親会」でいいじゃないか。プログラムには、アピールタイムにファンド委員長とネット事業主任が・・・とある。5時半に終わった。

◆9月第1例会は、常盤さんの「歓迎会」とプラザのHPでお世話になるグランパスの荒川、山本さんへのお礼を兼ねた飲み会に変更する。なお、30分ほどHP会議を行いますので、大島会長は荒川さんが削除した暫定HPを参考に、たたき台を作成して当日持参願います。

シユッポ

3月11日、日本では観測史上最大の地震が発生、同時に高さ10メートル以上の津波が東北地方沿岸部を襲った。福島第1原子力発電所の原子炉は地震と津波によりバックアップシステムが破壊されて機能不全に陥る。水素爆発、格納容器損傷、火災と5日間に4原子炉の事故が続き、そのたびに大気中に放出された放射性物質が飛散、主に東北・関東全域の土壤を汚染することになる。5月になると神奈川県の茶葉から基準値以上の放射性物質が検出された。◆わからないのは肉牛問題である。農水省は原発事故の8日後に「牧草を与える場合は、事故発生前に刈り取り・保管したものだけを使う」と関東・東北各県に通知した。連絡を受けた農家は「乾牧草」と書かれており“稻わら”は明記されておらず大丈夫だと思ったと受け止め、使ったらしい。8月になると主食のコメが槍玉に上がった。農水省は収穫前のコメを採取して予備検査を行い、放射性セシウムが1Kg当たり500ベクレルを超える玄米が検出された地域のコメは、全量出荷停止、廃棄処分との指示である。◆23年度のコメ生産数量目標の795万トン以下になるのは確実だが、備蓄米100万トン、民間在庫200万トンあれば心配はない。問題は17都県で実施する放射性セシウム検査の行方である。9月、日を追うごとに、各地から暫定規制値を下回る低レベルのセシウムが検出され始めた。検出された産地は「規制値の10分の1程度のレベルなので収穫後に500ベクレルに

達することはない」と風評被害を懸念するも、追い討ちをかけるように首都圏の自治体では、保護者の不安解消にと、学校給食の食材の自主検査結果と米の産地を教育委員会のホームページで公表する。新米が出回る10月には、低レベルであっても検出された地域産の米は、たとえ未検出でも売れない。農水省は低レベル検出米を含み風評被害で売れ残る米は20万トンに達するとの見通しを発表、産地、品種、産年を表示しないブレンド米は不安を煽ると販売を禁止する通達を出した。さらに、風評被害で売れない米を買い上げ、「高齢者用酒類」の製造、販売に関する時限立法を民意に問い合わせ、ほぼ合意されたと「安全な高齢者用の酒類を製造・販売、税率を従来品のほぼ半分の1.8L当たり100円とし全額を復興財源に当てる」旨の法案を平成24年1月に成立させた。◆「玄米に吸収されたセシウムは精米、洗米、蒸米の工程を経て清酒の時点で90-93%低減する」と厚労省が見解を示す。おおむねの法案は次の通りである。酒類の製造者は、風評米の使用は高齢者用酒類のみとし、他の酒類に転用してはならない。・風評米を使用して製造するのは、清酒・1.8L入り1種類とする。・銘柄は「復興正宗・復興錦」など必ず「復興」の日本文字を使う。高齢者用酒類容器の1/3以上の大きさで「風評米で作った高齢者用酒類」、8ポイント以上の文字で「未高齢者(60歳未満)の飲酒は、健康に対する悪影響を強めるかもしれません。周りの人から勧められても飲んではいけません」との表示をする。酒類を販売する営業者は、満60歳未満の者に高齢者用酒類を販売してはならない。また、供与する営業者は、高齢者用酒類を供与してはならない。高齢者用酒類の購入・飲用を希望する者は、医師の「健康診断書」と「飲酒許可書」を市町村の保険部(保健所)に提出、係員の説明を受け、同意書『私は「高齢者用酒類購入許可書(シユッポ)』を受けて高齢者用酒類の購入・飲用することは、将来に起こるかもしれない危険性について十分な説明を受け、高齢者用酒類の飲用について十分理解した上で、シユッポを受け取ることに同意します』に本人が署名・捺印して受領、高齢者用酒類を購入する場合は、酒類営業者に「シユッポ」を提示しなければならない。◆平成24年夏、復興酒が出回り始めると、今度は酒粕の処理をめぐり新聞・テレビが騒ぎ始めた。

聖書の言葉

【古い人が去り、新しい人が生まれる。それは大きな変化のようだが、この地に起きることは永遠に変わらない。太陽は昇って沈み、もとのところへ帰る。風はいろいろ吹くことを延々と続けているばかりだ。川の水はつねに海へと流れるが、海は決して満ち溢れることはない。かつて起こったことは、また起こる。かつて行われたこともまた誰かによって行われる。太陽の下に、今までになかった新しいことなど起きないのだ。(旧約聖書・伝道の書1.4-9・白取春彦著「超訳 聖書の言葉」幻冬舎)】